

タイ王国での海外実習出発の日が近づいてきました。私たち畜産国際協力ユニット所属の学生は毎年発展途上国に赴いて、現地での農業に関連する施設などを視察し、最終日に現地の大学で学習の成果を表すといった研修を行っています。

今年の行先はタイ王国です。私たちはタイを訪れる前にタイ王国のことをより深く知ることによって海外実習をより実りのあるものにするべく、事前学習として6月第2週より毎週金曜日の昼食時、タイ王国の観光や農業、習慣、文化といったそれぞれ興味のある分野を調べ、発表する勉強会も行っていました。さらにディベート論という講義でもタイでのプレゼンテーションに向けてタイについて興味のあることをそれぞれ調べました。私はタイの酪農について生乳生産量現状と改善のために設備や管理、衛生状態の



事前の勉強会

分野からどのように対策できるかを調べ、発表しました。このように私たちはタイでの海外実習にむけて時間をかけて準備をしてきました。これらの学習によって得られた知識が海外実習において皆の助けになると信じています。正直なところ、帯広畜産大学の代表としてタイへ向かうのにあまりにも準備が足りないような気がしてとても不安です。ただ、勉強会で得られたものは皆が調べてきたものから得られる知識だけではなく、国際協力ユニットに所属する仲間たちの意気込みや思い、知りたい事や期待することを共有できたことがなよりの収穫だったと考えています。皆の考えを聞いたことでとてもよい刺激になり、視野も広がったし尊敬するけど負けたくもないような少しばかりの競争心を掻き立てられました。

出発が間近に迫った9月13日、14日に先生方の計らいでスミス先生による英語の集中特訓と独立行政法人国際協力機構北海道国際センター道東業務課の村上さんにタイ王国の農業についてのお話をお聞きする機会をいただきました。英語は海外実習だけでなく、大学での勉強を進めるうえでも大変重要なものなのですが徐々に話したり聞いたりする英語はとても難しく、以前と比較するとその能力が落ちているように感じてしまい、内心とても焦ってしまいました。しかし、スミス先生の熱心なご指導のおかげでそのような不安や焦りも解消されたように思います。また、村上さんの農業についてのお話は途上国の現地の農家さんの現状が明らかに示されていて知らないことも多く、さらに結果の裏付けとして統計的な情報も駆使され



村上さんによるタイ農業の講義

ていて、興味深く聞くことができました。タイ王国を何度も訪れ、合計で約1年もタイに住んでおられた村上さんが話される内容はすべて実体験に基づいたお話だったのでパソコンの液晶越しにインターネットで得られた知識よりも、調査を行ったうえで苦労したことや現地での生活で得たノウハウなど、村上さんの知恵も含まれた生きた知識が私たちのタイ農業に対する理解をより一層深めてくれたように思います。

海外実習はまだまだ先のことだと思っていたのですが、気付けば出発の日が目の前まで来ていました。タイではどのような人々が、どのように農業を営んでいるのか。それをこの目で確かめることができます。半月と短い期間ですが、この実習が皆にとって実りある旅となりますように願います。